

2022年4月入学生用 教職課程説明資料

(生物生命学部)

1. 免許状の種類及び教科

学 科	免許状の種類及び教科
生 物 生 命 学 科	高等学校教諭一種免許状 (理科) 中学校教諭一種免許状 (理科)

2. 免許状取得資格

(1) 基礎資格と最低修得単位数

教育職員免許状を取得するための基礎資格は学士の学位を有すること。

その他に、教育職員免許法に定められた「大学における最低修得単位数」の科目として「教職に関する科目」、「教科に関する科目」、「文部科学省令で定める科目」の単位を修得が必要。単位数は次の通り。

免許状の種類	基礎資格	本学における最低修得単位数		
		教育の基礎的理解に関する科目等	教科及び教科の指導法に関する科目	文部科学省令で定める科目
高等学校教諭一種免許状 (理科)	学士の学位を有すること	24	35	12
中学校教諭一種免許状 (理科)		28	31	12

(2)教育の基礎的理解に関する科目等

★理科(高校) 認定学科：生物生命

施行規則に定める科目区分等			授業科目	単位数	1年次		2年次		3年次		4年次	
科目	各科目に含めることが必要な事項	最低修得単位数			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
					教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。) 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。) 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解 教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	10	◎	○			
の道徳、相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法 総合的な学習の時間の指導法 特別活動の指導法 教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。) 生徒指導の理論及び方法 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法 教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	8	◎			○		○				
関する実践科目	教育実習 教職実践演習	3 2	○						○	○		
計			23	24								

※◎○は必修科目

☆開講時期は、変更になることもあるので、時間割等で十分確認すること

☆○は4年次に教育実習に行くために3年次までに取得すべき必修科目

★理科(中学) 認定学科：生物生命

施行規則に定める科目区分等			授業科目	単位数	1年次		2年次		3年次		4年次	
科目	各科目に含めることが必要な事項	最低修得単位数			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
					教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。) 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。) 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解 教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	10	◎	○			
の道徳、相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法 総合的な学習の時間の指導法 特別活動の指導法 教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。) 生徒指導の理論及び方法 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法 教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	10	◎			○		○				
関する実践科目	教育実習 教職実践演習	5 2	○						○	○		
計			27	28								

※◎○は必修科目

☆開講時期は、変更になることもあるので、時間割等で十分確認すること

☆介護等体験7日間「社会福祉施設5日間、盲・聾・養護学校2日間」(中一種免許必修)

☆○は4年次に教育実習に行くために3年次までに取得すべき必修科目

中学免許

※高校免許は次のページへ

(3) 教科及び教科の指導法に関する科目

★生物生命学科
「理科」

※ ○印の付いた授業科目は、免許取得上の必修科目である。

科目区分	各科目に含めることが必要な事項	最低修得単位数	授業科目	単位数	備考	
教科及び教科の指導法に関する科目	物理学	各項目についてそれぞれ1単位以上 中31単位	○ 基礎物理学 物理学	2 2		
	物理学実験 (コンピュータ活用を含む。)		○ 物理学実験	2		
	化学		○ 化学Ⅰ ○ 化学Ⅱ 分子生命化学Ⅰ 分子生命化学Ⅱ	2 2 2 2		
			○ 分析化学 ○ 有機化学 生物物理化学 酵素学 発酵化学	2 4 2 2 2		
			○ 生化学Ⅰ 生化学Ⅱ 生体高分子科学	2 2 2		
			分子生命化学実験 分析化学実験 生命科学基礎実験 生命情報科学実験 生命環境科学実験	2 2 2 2 2	選択必修2単位	
			生物学	応用微生物学Ⅰ 応用微生物学Ⅱ 微生物利用学 生物資源環境工学 生物反応工学 分子遺伝学 細胞生物学 応用分子生物学 遺伝子工学 微生物遺伝学	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	
				○ 生物学 バイオテクノロジー総論Ⅰ バイオテクノロジー総論Ⅱ 分子生物学 遺伝子科学 生体情報学 生体システム論 細胞工学 細胞培養工学 代謝工学 細胞機能学 自然共生人類学 生理活性物質	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	
				応用微生物学実験 微生物遺伝学実験 医用生体工学実験 細胞工学実験	4 2 2 2	選択必修2単位
				○ 地学	2	
				○ 地学実験	2	
				○ 理科教育法Ⅰ ○ 理科教育法Ⅱ ○ 理科教育法Ⅲ ○ 理科教育法Ⅳ	2 2 2 2	
	各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)					

※中学・高校両方の免許を取得する場合は、中学免許の科目を修得すれば高校免許も取得できます。

高校免許

(3) 教科及び教科の指導法に関する科目

★生物生命学科
「理科」

※ ○印の付いた授業科目は、免許取得上の必修科目である。

科目区分	各科目に含めることが必要な事項	最低修得単位数	授業科目	単位数	備考		
教科及び教科の指導法に関する科目	物理学	各項目についてそれぞれ1単位以上 高35単位	○ 基礎物理学 物理学	2 2	選択必修2単位		
	化学		○ 化学Ⅰ ○ 化学Ⅱ 分子生命化学Ⅰ 分子生命化学Ⅱ	2 2 2 2			
			○ 分析化学 ○ 有機化学 生物物理化学 酵素学 発酵化学	2 4 2 2 2			
			○ 生化学Ⅰ 生化学Ⅱ 生体高分子科学	2 2 2			
			生物学	応用微生物学Ⅰ 応用微生物学Ⅱ 微生物利用学 生物資源環境工学 生物反応工学 分子遺伝学 細胞生物学 応用分子生物学 遺伝子工学 微生物遺伝学		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	
				○ 生物学 バイオテクノロジー総論Ⅰ バイオテクノロジー総論Ⅱ 分子生物学 遺伝子科学 生体情報学 生体システム論 細胞工学 細胞培養工学 代謝工学 細胞機能学 自然共生人類学 生理活性物質		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	
				○ 地学		2	
				物理学実験 (コンピュータ活用を含む。) 化学実験 (コンピュータ活用を含む。) 生物学実験 (コンピュータ活用を含む。) 地学実験 (コンピュータ活用を含む。)		2 2 2 2 4 2 2 2 2	
				各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)		○ 理科教育法Ⅰ ○ 理科教育法Ⅱ	2 2

(4) 文部科学省令で定める科目

文部科学省令で定める科目	最低修得単位数	本学の授業科目	単位数	備 考
日本国憲法	2	◎日本国憲法	2	必修
体育	2	◎健康スポーツ教育Ⅰ	1	これら2科目より1科目選択・必修
		◎健康スポーツ教育Ⅱ	1	
		◎健康科学概論	2	必修
外国語コミュニケーション	2	◎イングリッシュコミュニケーションⅢ	2	必修
		◎イングリッシュコミュニケーションⅣ	2	
情報機器の操作	2	◎情報処理基礎	2	必修
計	8	計	11	